

まつり 亜創

まつり
あそう

結成：平成15年2月

頭の井上亜創を中心に、お祭り用品店「旭屋」さんのお客さん同士が発起人となり設立。“お祭りを楽しむための祭連!!”という頭の思いに賛同し集まったメンバーで活動しています。祭連名は頭の名前そのまんまです(笑)

まつり亜創

ほんのり緑がかった灰色の法被に、男性は赤、女性はメダカ柄の鯉口。紺の股引き。赤い前坪の雪駄。お囃子は任意で紺の前掛け、紺の足袋。背中に入ってる紋はオリジナルのもの(元メンバーの素案をアレンジ)で『炎の二つ巴』といいます。古来より巴紋は、雷神の太鼓にも描かれ、雷鳴を表していると言われていました。また渦や雲などに由来するとも…。『踊り』と『お囃子』、二つで一つという意味もあります。元々、頭が所属していた凌雲炎舞太鼓の想いを継ぐことにも由来する紋となっています。



表:メタリックレッド(ピンクっぽく見える)にシルバーのフチ

裏:黄色に紫のフチ

片面2色使いにしたい、まず最初に紫は必ず入れたかったことから決定(正宗の陣羽織、茄子紺に由来)。そして、紫に対して映える色を考えていき、この色合わせが頭的に一番見映えがし格好の良い組み合わせだったことで最終決定となりました。

結成から来年で20年！3人から始まったメンバーも増えては減り、増えては減りを繰り返しながらも、ほそぼそと続き今に至ります。結成当時、頭は「踊り30人のお囃子20人、合計50人くらいの祭連にしたい！その人数が纏まりがきき、それでいて魅せる演舞が出来る最大の人数(頭の理想)だろう。最初は少人数でも、10年後、20年後にそんな祭連になってれば良いなあ〜」とっていて、早19年！いまだに少人数の祭連です(笑)。ですが、19年続く事が出来ました。これからも、更に10年、20年と続き、やがて頭の理想の人数、理想の演舞が出来る大きな祭連になる様、躍進していきたいと思ひます。

